

## 「福井元気宣言」推進に関する政策合意

私は、知事の政策スタッフとして、「福井元気宣言」に掲げられた「元気な産業」、「元気な社会」、「元気な県土」、「元気な県政」の4つのビジョンを着実に実現していくため、県民の理解と参加を得ながら、責任を持って職務を遂行し、特に、今年度は、次に掲げる施策・事業について重点的に取り組むことを西川一誠知事と合意します。

平成16年4月

福井県知事 西川 一 誠

福祉環境部長 梅田 幸重

### 基本姿勢

- ・ 福祉・保健・医療および環境分野は、すべての県民が安心と安らぎを実感しながら暮らしていくための基盤となる分野であり、職員が積極的に現場に出向き、また本庁と出先機関の意思疎通を緊密にし、常に生活者・サービス利用者としての県民の皆様の声に耳を傾けながら仕事を進めていきます。
- ・ これからの福祉、環境行政の推進には、NPOやボランティアなど県民との協働が不可欠となっており、地域福祉の向上、「健康長寿福井」の推進、美しいふるさと福井の自然環境の保全・活用などに向け、一人ひとりの県民や地域、事業者の主体的な活動の輪が一層広がるよう取り組んでいきます。
- ・ 部の職員一人ひとりが、福祉・保健・医療・環境のそれぞれの分野における専門的知識と経験を深め、それを活かして新たな課題に積極果敢にチャレンジする姿勢を浸透させるとともに、部内の女性職員による自主的なワーキンググループのように、それぞれの分野にとらわれない斬新な発想や意見を引き出す機会を積極的に創り出し、自由で活力ある職場づくりに努めます。

## 取組項目

### 重点項目

#### 1 きめ細かな子育て支援など少子化対策の推進

少子化に歯止めをかけ、児童の健全育成を図ることは元気な福井を実現していくための最重要の課題と認識し、市町村や関係機関に対して連携・協力を強く働きかけ、県民ニーズを踏まえて実施する各種の子育て支援施策が、効果的かつ十分に活用されるよう努めます。

- ・ 保護者が病気や残業等の際に、一時的に必要とするきめ細かな子育て支援サービスを提供する「すみずみ子育てサポート事業」が、各地域で広く活用されるよう取り組みます。

〔 年間利用のべ人数見込 14,000人 〕

- ・ 「病児デイケア施設」をできるだけ早期に全市に設置することを目標とし、町村での設置も進むよう関係者へ働きかけるなど、積極的に取り組みます。

〔 新規補助事業実施  
病後児保育 1市 1施設 (H16年3月末現在 2市3施設)  
病児保育 2市 3施設 ( " なし ) 〕

- ・ 延長保育、放課後児童クラブ、児童館の充実・整備を着実に進めます。

〔 延長保育の充実 24か所 (H16年3月末現在 111か所)  
放課後児童クラブの充実 13クラブ ( " 117クラブ)  
児童館の整備 1か所 ( " 110か所) 〕

- ・ 「まちなかキッズルーム」の整備に取り組み、特にニーズの高い民間施設での整備が進むよう、積極的に働きかけます。

〔 整備数 25か所 (H15年度 22か所) 〕

- ・ 新たに実施する不妊治療にかかる治療費の助成事業を広く周知し、効果的に活用されるよう努めます。

- ・ 平成16年4月から嶺南地域へも拡充した夜間における小児救急医療を、協病院や医師会と協力して円滑に運営します。

- ・ 「こども家族館(仮称)」の整備に向け、地域で十分活用される施設とするよう、今年度、設計プロポーザルを進めます。

- ・ 新たな少子化対策プラン（エンゼルプラン）の年内策定へ向け、「男性を含めた働き方の見直し」など、本県の特性を十分踏まえた効果的な計画となるよう取り組みます。

## 2 元気百歳プロジェクト等「健康長寿福井」の推進

平均寿命が男女ともに全国第2位の福井県。本県のこの特徴をさらに、全国に誇れる“元気で長生き県”としていくための取組みに力を入れていきます。

### (1) 「元気な福井の健康づくり応援計画」に掲げた健康づくり施策の着実な推進

- ・ ホームページ「ふくい健康広場」での健康づくり実践団体の幅広い情報提供などにより、一団体一健康づくり運動を拡大します。

〔 健康づくり実践団体の新規登録数 100団体（H16年3月末現在 28団体） 〕

- ・ 健康長寿要因の調査・分析、本県独自の健康寿命算定方法の開発、健康長寿をテーマとするフォーラム開催など、新たな取組みを進め、「健康長寿福井」を県内外に発信します。

- ・ 市町村、事業所における歯科健診の普及や8020（80歳まで自分の歯を20本）運動の普及啓発等により、県民の歯の健康を促進します。

### (2) がん検診の徹底等がん対策の充実

- ・ 専門医と共同して全市町村のがん検診の特徴や課題を把握し、必要な助言を行い、市町村が行うがん検診の受診率の向上を図ります。

〔 がん検診受診率（H16年度目標） 〕

胃がん	13%	（H15年度見込	12%）
肺がん	30%	（H15年度見込	28%）
大腸がん	19%	（H15年度見込	18%）

- ・ 若狭湾エネルギー研究センターにおける陽子線がん治療研究の成果を活かし、「陽子線がん治療センター（仮称）」の整備へ向け、基本計画を策定します。

## 個別項目

### 1 一人ひとりの命が輝く福祉の推進

#### (1) 福祉を支える体制の整備

- ・ 地域福祉活動を実践する人材育成に取り組み、コミュニティ単位で、NPOや地域コミュニティが連携して高齢者や障害者等を支える仕組みづくりを進めます。

福祉ボランティア新規登録者数	4,000人	(H16年3月末現在 81,709人)
地域支え合いの仕組みづくり事業への支援	22地域	

- ・ 特別養護老人ホームなどの介護施設の整備に向け、可能な限り財源の確保に努めるとともに、事業者の自己資金による整備も促進します。また、在宅高齢者が地域で気軽に利用できるデイサービス拠点の整備を支援し、高齢者ができるだけ家庭での生活が継続できるよう取り組みます。こうした施設整備と在宅福祉の充実により、「待機者ゼロ県」を目指します。

介護施設整備目標数	260床以上	(H16年3月末整備数 7,770床)
地域共生型デイサービス事業所	8か所整備	

- ・ 障害者施設やデイサービス、知的障害者のグループホーム等を計画的に充実します。

障害者施設定員数増	47人	(H16年3月末 3,081人)
障害児(者)に対するホームヘルパー数増	22人(21,560時間)	( " 78人、76,808時間)
知的障害者のグループホーム入居者数増	33人	( " 143人)

#### (2) 高齢者や障害者の社会参加の促進

- ・ (財)福井県すこやか長寿財団が行う各種講座の拡充を図るほか、市町村や関係部局と連携しながら、公民館等の身近な施設での高齢者向け学習講座の充実などに取り組み、高齢者の生涯学習機会の充実を図ります。

チャレンジ塾と高齢者ラジオ講座の参加者数	3割(150人)以上増加	
----------------------	--------------	--

- ・ 障害者、高齢者、幼児を含む全ての県民が、容易で安全に暮らせるよう設計された「ユニバーサル・デザインのまちづくり」を推進するため、県有施設、市町村施設、民間施設のバリアフリー化を積極的に推進します。

県有施設	10施設	(H16年3月末現在 71施設)
市町村施設	4施設	( " 32施設)
民間施設	15施設	( " 39施設)

- ・平成17年度に本県で開催される「日本身体障害者福祉大会・第50回大会」のプレ大会として、本年秋に、全国から関係者の参加を得て、「障害者の自立を考えるフォーラム2004」を開催します。
- ・障害者の自立を促進するため、授産活動の振興および授産製品の販売拡大へ向け、県内の授産施設等の協議会による拠点組織の年度内の設立を支援します。

## 2 質の高い医療サービスの提供

- ・医療サービスの向上を図るとともに地域の医療資源を有効に活用するため、医療関係者等による協議会を設置し、相互の機能分担と連携、人材確保等の取組みを進めます。
- ・新県立病院において第三者機関による病院機能評価認定審査を受け、医療の質と利用者サービスの一層の向上を図ります。
- ・新県立病院内の難病支援センターを充実し、専門家による定例相談や患者会によるピアカウンセリングの実施、医療従事者の専門研修会の開催等、相談支援体制を強化します。

専門家による定例相談会	年間10回	(H15年度 2回)
ピアカウンセリング	年間20回	(H16年度 新規)
専門研修会	年間 4回	(H15年度 2回)

## 3 食の安全・安心の確保

- ・生産者、製造・加工業者、流通業者、販売業者、消費者および行政が一体となって食の安全・安心を確保するため、「ふくい食の安全・安心行動計画」に基づく新たな取組みを精力的に進めます。

県独自のHACCP認証制度の創設
食品表示、食品衛生の監視指導・検査の充実強化
食中毒発生減少に向けた取組み(10万人当たりの発生状況の少なさ全国上位を目標)
県民運動の展開(食の安全・安心会議(仮称) 意見交換会、シンポジウムの開催)

## 4 持続可能な資源循環型社会の構築

- ・グリーン購入の促進、リサイクル製品の需要拡大を図るため、市町村や民間事業者の取組みを強く促します。

グリーン購入調達方針策定市町村	4市町村	(H16年3月末現在 6市町村)
グリーン購入ふくいネット会員数	31	(H16年3月末現在 329)

- ・ 地球温暖化防止に向け、家庭や事業所における省エネルギー等の実践活動の輪がさらに広がるよう、必要な働きかけを強化します。

〔 温暖化ストップ親子大作戦の応募 1,000家庭 (H15年度 631家庭)  
エコオフィス宣言事業所 87事業所 (H16年3月末現在 313事業所) 〕

- ・ 低公害車購入に対する補助事業の積極的なPRを進め、低公害車の普及促進を図ります。

〔 低公害車補助台数 300台 (H15年度 120台) 〕

- ・ 県民が分別排出しやすい資源ごみ回収拠点整備の支援などにより、プラスチック容器包装のリサイクル率向上のための取組みを進めます。

〔 プラスチック容器のリサイクル率(H16年度目標) 16% 〕

- ・ 広報キャンペーンやホテル業界等関係者との意見交換を通じ、食べ残しごみの減量化に取り組めます。

- ・ 「福井県廃棄物処理計画」に定める一般廃棄物の排出量およびリサイクル率の目標値について実情に即した見直し検討を行います。

- ・ 自動車リサイクルについて、解体部品の供給方法や車の引取り処理などのネットワーク化の検討を進め、繊維リサイクルについては、プラスチック素材等を利用している産業と連携したリサイクル化の推進について、可能性の検討を進めます。

## 5 産業廃棄物の適正処理の推進

- ・ 敦賀市民間最終処分場問題の対応として、技術的にも経済的にも合理的かつ効果的な対策を検討するとともに、国および敦賀市と協議を重ね、「特定産業廃棄物に起因する支障の除去等に関する特別措置法」の適用を受けるための取組みを進めます。

- ・ 「リサイクル推進センター(仮称)」整備構想については、民間リサイクル施設の動向、県外産業廃棄物処理施設の受入動向、市町村の一般廃棄物焼却残さの処理動向等を踏まえ、構想具体化の必要性も含め、様々な角度から検討を深めます。

- ・ (財)福井県産業廃棄物処理公社の管理型最終処分場は、埋立残余容量などを勘案し、整備に向けて取り組めます。

- ・ 産業廃棄物処理法上の立入検査権を有する市町村併任職員が未設置の市町村に対して設置を働きかけ、県下全域における廃棄物の不法投棄に関する監視体制を強化します。

## 6 福井の豊かで美しい自然の保全と活用

- ・ 「ふくい環境力向上プロジェクト推進事業」を効果的に進め、子供たちと地域が主体的に行う、地域の課題や資源を活かした環境保全活動を促進します。

〔 地域連携モデル事業 10件(県内4ブロック) 〕

- ・ 自然体験、農業体験、食体験等福井県の魅力を活かした「福井型エコツーリズム」を推進するため、モデル3地区(大野、池田、三方)において地元住民とのワーキングを開催しながら、地元と一体となって自然体験プログラムを年度内に開発します。

〔 ワーキング開催 3地区でそれぞれ3回 〕

- ・ 生物多様性を確保するうえで重要な30地区の「重要里地里山」を選定・公表し、このうち、関係部局と連携しながら支援する10地区のうち2地区を年度内に選定します。

- ・ 希少生物が多く生息している武生市西部地域の里地里山を地域が一体となって保全活用していくため、住民参加によるワークショップも行いながら、「人とメダカの元気な里地づくりビジョン」を年度内に策定します。

- ・ 福井の豊かで美しい水資源の活用方策について、福祉環境部が中心となって庁内で検討を進め、特に福井の水を新たなブランドとする取組みについて、その考え方を年内に取りまとめます。

- ・ 農林業に被害を与えている鳥獣駆除のため、市町村や関係団体と連携して新たな対策に取り組み、成果を挙げます。

〔 広域一斉予察駆除の実施 (捕獲目標数 700頭)  
被害の重点地域に対する指導の強化 (7地域) 〕